



木高通信

～誠実 は 光 なりき～

令和6年度 2月号

青森県立木造高等学校

◎「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム成果発表会～令和6年度持続可能な地域づくりあおもり創造学プロジェクト事業～



「あんず飴」…関東ではフルーツを飴で包んだ物をあんず飴と言うそうです。

2 年次「総合的な探究の時間」の木造・人づくり・地域づくり・産業支援・環境保全の 5 つのプロジェクトチームの代表として、ホテル青森での発表会（2 月 5 日）に参加しました。県内の約 7 0 校が集まり、それぞれの成果を披露しました。本高の代表は先月号でも紹介したテーマ「馬市革命～馬市まつりを更にもりあげるためには～」のチームです。このチームは地域復興のためにできることを考え、「馬市まつりについて」を中心に活動してきました。増やしたい観客層を私たちと同年代である高校生に絞り、高校生が行きたい、写真を撮って拡散したいと思える取り組みを考えました。「馬ねぶた」と「あんず飴」。青森ねぶたの金魚ねぶたと、関東周辺でのお祭りからアイデアを得ました。そして、発表後もまだまだ活動は継続しています。すぐさまフィールドワークに出かけました。

◎Let's Go！フィールドワーク

新たな木高キャラクター誕生するか！？～



生徒が作りました



しゃっちゃん君
ピンチ！
世代交代！？



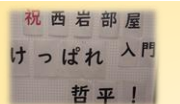
行き先は「津軽藩ねぶた村」！実際に金魚ねぶたづくりを体験してきました。まず、びっくりしたことは、津軽藩ねぶた村には「しゃっちゃん」のグッズや金魚ねぶたが、たくさんあったことです。そこで、専門家に金魚ねぶたの作り方から絵の描き方、色の付け方など教えてもらい、体験してきました。生徒たちは創作しながら、将来のことや、地域のねぶたについての話題を通して、人との出会い、つながりがあることに気付き、充実した時間を過ごしてきました。

*2/24「JOMON亀ヶ岡文化フォーラム2025」でも発表してきました！詳しくは学校HPで！



工藤瑠華さん(21HR)
小林桜都さん(21HR)
長内華恋さん(22HR)
中島蒼乃香さん(22HR)

特ダネ 大相撲「西岩部屋」入門！ ～ 神 哲平くん(33HR) ～



3 月 1 日の新弟子検査に向けて西岩親方（元若の里）が来校した 2 月 1 8 日。相撲部の神哲平くんが卒業式を前に、他の 3 年次生よりいち早く巣立ちました。3 年次生はこの日は登校日ではありません。神くんは誰もいない中での木高とのお別れ。そう思っていたかもしれません。

しかし、急遽「けっぱれセレモニー」が行われました。場所は生徒玄関のカップ置場。ちょうど昼休みの時間帯。

1・2 年次に声を掛けたところ、廊下や階段がいっぱいになるほど多くの生徒が集まりました。相撲部 3 年次の松野将太くんが駆けつけ、元応援団長であった松野くんは現応援団長と共にエールを送りました。そして、最後はみんなで校歌を歌って見送ることができました。

神くんは「観客を沸かせて、みんなから愛される力士になりたい」と抱負を語りました。このカップ置場には、舞の海の化粧まわしが展示されています。神くんの化粧まわしが並ぶのを楽しみにしています。

<プロフィール> 鶴田中学校出身。身長 1 7 5 cm、体重 1 1 0 kg。昨年の県高校総体個人の部で優勝、インターハイ出場。得意の取り口は右前みつをとっての出し投げ。

木高祭のクラス
の神隠しでは
坊役で会場を盛り
上げました。

◎流通ビジネス系列の課題研究 ～進学力を高める高校支援事業～



2 月 6 日（木）青森県総合学校教育センターで行われた県の支援事業の研究発表会に本校を代表して 3 年次の田中悠雅くんと木村真彩さんが参加してきました。2 人は「消滅可能性自治体からの脱却！」をテーマに

ふるさと納税を活用した地域課題への解決に向けて探究してきました。そうした中、返礼品にも目を向け、神武食堂さんと共同開発へ。県産の食材にこだわった焼売とそのパッケージ制作に取り組みしました。

◎1年次スキー教室

2 月 2 0 日（木）青森スプリング・スキーリゾート（鱒ヶ沢）にて。「スキー場に行く機会がないので、みんなで楽しみながら良い経験、思い出になった。」「雪国に生まれた良さを感じた」「少ない時間の中で上達していくのを感じるのが楽しかった」等々、楽しかった感想をいっぱい聞くことができました。



◎進路体験談 ～進路決定者からのメッセージ～

2 月 1 4 日（金）1・2 年次生の進路志望実現に向け、3 年次生からどのように進路活動を行ってきたか、大切な事は何か等、自分自身が感じたことも含めて伝えると同時に、後輩を激励しました。

<3 年次代表の発表者>

古川鈴音さん(31HR) 三上莉央さん(31HR) 長谷川姫花さん(32HR)
青木海羽さん(33HR) 木村結那(34HR)さん 成田海藍さん(34HR)

1・2 年次の感想…ごく一部ですが紹介します。

- やっぱり評定をキープするのは大事なんだということがわかりました。苦手な教科も頑張ってみようと思いました。
- 早め早めに自分から行動して行かないといけないことが分かったので自分も今年積極的に行動に移していきたいです。
- 自分が志望している公務員の貴重な話を聞くことができ、不安なことがあったけどどのように勉強したらよいかわかるといって大切なことなど学ぶことができて非常に役に立ちました。また、進路面や就職面は一見自分に関係ないように見えたけど面接のポイントなど共通して参考にできる部分が沢山あり聞けてよかったです。
- 大学に合格するにはただ勉強するだけでなく自分の目指している進路に関することをボランティアや校外演習などに行つて経験を積むことも大切だと分かったのでこれからはボランティアなどに行つて経験を積んでいくようにしたいです。

* 木高通信では特ダネを常時、受付けています。（1 職編集局長中山デスク 2 職支局長則子デスク 3 職特派員大柳デスク）

学校ホームページ <http://www.kizukuri-h.asn.ed.jp> でカラーが見れます。また様々な学校生活の様子も掲載しています。